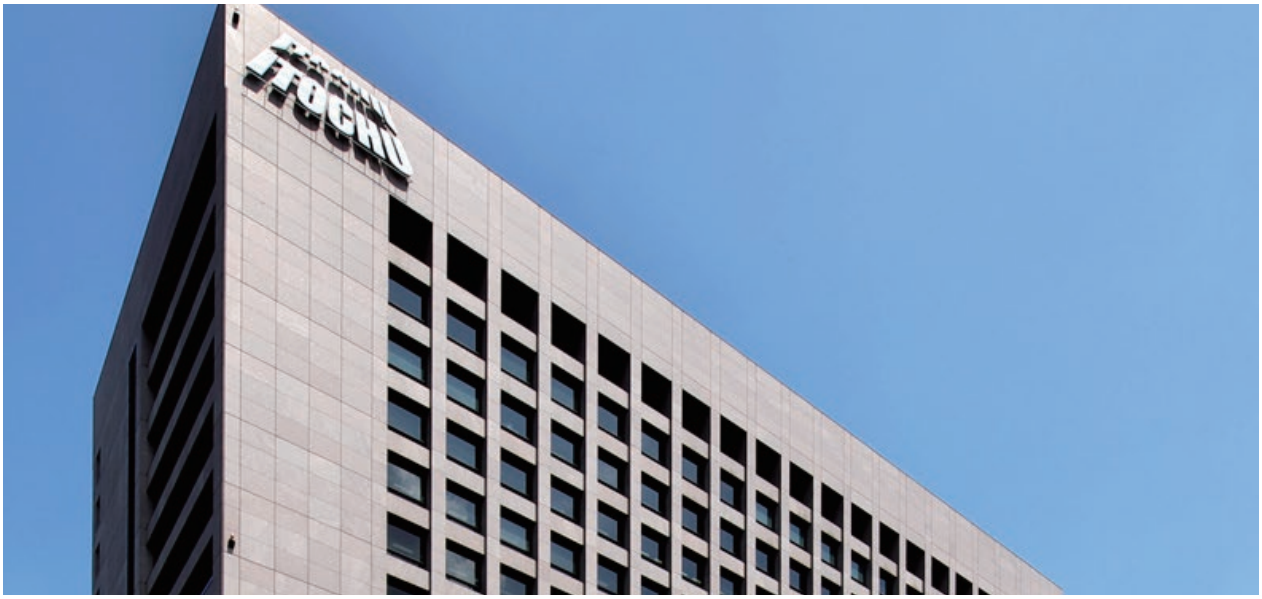
— CASE STUDY —

# コミュニケーションポータルとして「PHONE APPLI PEOPLE」を全社展開

## 「Sansan」「Cisco Webex Calling」「Microsoft Teams」との連携で、スマートワークスタイル実現を目指す




### 伊藤忠商事株式会社

| | |
|---|---|
| 業種 | 総合商社 |
| 従業員数 | 4,264名 |
| ご担当者 | IT･デジタル戦略部 技術統括室長 冨永新也氏<br>IT･デジタル戦略部 技術統括室 服部麻美氏 |

| 課題・背景 | 効果 |
|---|---|
| 従来の社内電話帳はPCのみでの利用 | PCとスマートフォン両方で利用可能に |
| コロナ禍で、在宅勤務が加速 | 在宅や移動中を含む<br>様々な場面での業務に対応 |
| 各ツールを独立して利用していた | 連携機能により、<br>人起点での社内コミュニケーションが実現 |

## 社内電話帳システムの更改を機に、PHONE APPLI PEOPLEを全社に展開

同社は長く利用してきた社内電話帳をPHONE APPLI PEOPLEへ2021年1月に刷新。従来の社内電話帳は、自社専用に開発されたオンプレミス型のシステムだった。現状ではPC利用のみで、スマートフォン等の利用ができなかった。さらにSaaS化が進んでいるその他コミュニケーションツールとの連携性にも課題を抱えていた。それらの課題の解決や社員機動力アップのために、利便性とセキュリティに優れた汎用型のSaaS社内連絡帳の導入を検討することにした。

## 汎用SaaSでありながらニーズに応える柔軟性を評価 他ツールとの連携で社員の「コミュニケーションポータル」として期待

選定の決め手は、直感的な操作性に加えて、同期社員を検索する機能や、自部署を初期表示してほしい、といった独自リクエストにも対応可能な柔軟さだった。さらにMicrosoft TeamsやCisco Webex Callingなどと連携可能であるため、社内に独立して存在するコミュニケーションツールのポータルとしての機能にも期待。常に最新機能が自社の保守なしに利用できるクラウドサービスとしてのメリットと、汎用でありながらユーザーが求める使いやすさに柔軟に応えてくれるという点で、ほかにはないサービスだったと高く評価する。

## PHONE APPLI PEOPLE×Microsoft Teamsで、「人」起点のコミュニケーションが実現

利用開始後、PHONE APPLI PEOPLEは社内にも比較的スムーズに溶け込み、スマートフォンアプリでの利用も可能になったことで、在宅や移動中を含む様々な場面での利用における利便性も大きく高まった。PCとスマホからPHONE APPLI PEOPLEで社員を検索すると、そのままMicrosoft Teamsでのコンタクトも可能。これまでのツールごとではなく、人起点での社内コミュニケーションが実現している。

## PHONE APPLI PEOPLE×Sansan×Cisco Webex Callingの、三位一体連携が実現する理想の姿

さらに期待されているのが、名刺管理のSansan、IP-PBXのCisco Webex Callingとの三位一体での連携だ。Sansanで取り込んだ各自の名刺情報をPHONE APPLI PEOPLEとデータ連携することで、社外のお客様、パートナー企業との連絡のしやすさが実現する。さらにCisco Webex Callingも展開しているため、この3ツールが連動すれば、BYODの個人デバイスへの連絡先登録にまつわるセキュリティ課題や、通話料の個人負担問題も解消できる。

Web 電話帳クラウドサービス

**PHONE APPLI** PEOPLE（旧：連絡とれるくん）

人の価値を高め、生産性を向上させる“人”中心のクラウドサービスです。
キーワードやスキルで社内の専門家を、名刺データからお客様を簡単に探しだし、最適なコミュニケーション（チャット、メール、電話、Web会議）がとれ、コラボレーションを活性化させます。大手企業を中心に150万ライセンス活用されています。

※出典：MM総研「Web 統合電話帳アプリケーションの市場規模調査」（2020年7月）

フォンアプリ

https://phoneappli.net/product/service/papeople/